”農地・水・環境保全”
水土里のネットワーク通信

＜ 第 31 号 ＞
２０１０．５．１発行
島根県農地･水･環境保全協議会

4年目を迎えて･･･

米と羊

島根県農村整備課長　植野栄治

何年も前になりますが、当時携わっていた仕事の関係でニュージーランドに行く機会がありました。羊や牛がのんびりと草を食む風景を目にしながら、もし入植したのがイギリス人ではなく、日本人であったら、ここにはきっと水田が広がっていたのでは、という空想がふと心に浮かびました。

季節は逆ですが、日本とニュージーランドの気候や地形はよく似ています。北海道でも稲作を成功させた日本人ですから、何をおいても米をつくろうとしたに違いありません。一方、西欧人にとっての「米」に当たるのは、小麦ではなく、実は酪農だそうです。イギリス人が、牛や羊を飼い、現在あるニュージーランドの風景を作り上げたのは、ほとんど本能的な行為だったともいえます。新しい土地で、どんな農業をしようとするのか？これは民族の違いを明らかにするもっともよい実験かもしれません。

翻って考えれば、我々日本人の本能が生み出したこの農地・水・環境を守り、さらに向上させていく活動は、我々を日本人たらしめる、一つのよすがであるといっても、過言ではない気がします。

※よすが（縁／因／便）《「寄す処(か)」の意。古く　は「よすか」》１　身や心のよりどころとすること。頼りとすること。また、身寄り。血縁者。よるべ。２　手がかり。手だて。方法。

活動事例紹介

地域住民全体で守る環境
～体制整備構想（案）を作成して～

活動組織名：稗原環境保全協議会（出雲市）

出雲市稗原地区は、宇那手町、稗原町、野尻町の３町からなる、戸数５２５戸、人口２０２０人程の集落である。稗原郷土史によると、今から１００年前の明治４３年には戸数５５１戸、人口２７９５人となっているから、この１００年間に約３０戸、８００人ほど減少したことになる。

ところで、今回農地・水・環境保全向上対策の取り組みの中で体制整備構想（案）を作成するに当たり、稗原地区全戸を対象に状況調査及び１０年後の予想をアンケート方式で聞いてみた。その結果は次の表のとおりであった。アンケートの回収率は９６パーセントだったので数値は実際より若干低いがお許し願いたい。

共同作業で行う
農道のコンクリート舗装補修

表１

	戸数	全人口	男	女	65才以上（%）
明治４３年	５５１	２７９５	１４２６	３６９	
平成２１年１１月現在	５０４	１９１１	９２５	９８６	３３
平成３１年予想	５０４	１５３０	７８０	７５０	３８

農業従事者

	全人口	男	女	65才以上（%）
平成２１年	９２１	４９２	４２９	４５
平成３１年予想	４７２	２８０	１９２	５２

大胆な比較を許していただくと、当稗原地区における人口の変化は、過去１００年間に起こった変化の約半分が、これからの１０年間で起きることになり、農業従事者についても 現在の約半数となり、更に高齢化が進むと予想していることが確認された。このことを稗原地区全体で共通理解し、これからは農業だけでなく他の産業は元より、自治協会活動をはじめとする社会生活も大きく変化することが予想されることから、今後どの様に対応するべきかを記述式で第２回目のアンケート調査を行った。

スポーツ少年団で取り組む
カーブミラーの清掃

その内容は、町内の合併統合から、国政への要望まで多岐広範囲にわたったものであったが、それを元に役員会及び理事会を開き体制整備構想（案）にまとめた。

大まかには、地域住民全員参加による、農地や自然環境の保全、営農組合を柱とした後継者の育成、並びに夢のもてる農業、即ち生産物の販路の確保を目標に掲げ努力するといった内容である。田畑の周囲を広大な畦畔で囲まれていることから、雑草を利用した堆肥作りを通して環境美化と同時にエコ農業にも取り組む事を確認しあった。

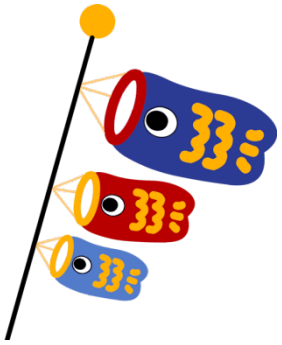
島根県からのお知らせコーナー

鳥獣害防護柵等（ワナ・檻含む）の新設（防護柵が無い農地に防護柵を設置する場合）が、平成２２年度より活動の対象から除外されることになりました。しかし、防護柵の更新や補修活動は、従来どおり実施可能です。また、部材の購入も交付金を活用できます。

ただし、平成２２年３月３１日までに新設を計画していた場合は、２２年度以降も活動として実施出来ます。詳しくは県協議会や市町村にお問い合わせください。

活動も４年目を迎えました。よりよい活動になるよう次のような共同活動の流れを再確認しましょう。

- みんなで地域を見て回る
- アンケート調査などで要望を調査する
- それらを図面に書き入れる
- 役員で協議し、優先順位などを決定する
- 計画案（予算、誰が、いつ）を作成する
- みんなに計画を示し合意形成を図る
- 活動を実施する



★今月の予定★

１３（木）	平成２２年度農地・水・環境保全協議会第１回通常総会
５月中旬	営農活動市町村担当者会議（東部・西部）
２４（月） ～２５（火）	ルーラルミーティング in しまね（H22）（浜田市金城町）※詳細は別紙

ちょっと一息
おたよりコーナー

3年目の工事を終え、先が見えたホギレ排水路の改修！

田頼町農地・水・環境組合（安来市）より お便りが届きました。

ホギレ排水路は柵工構造で、老朽化が進行しており流れが悪く土砂の堆積が著しい水路です。このため、底張りコンクリートを3カ年で450m実施し残り200m余りです。
田頼町念願の工事がもう少しで完成します！

組織のみなさんお疲れまでした。
日曜返上の共同作業が実を結び水路のリフレッシュが出来つつありますね。

【投稿規定】
郵便番号、住所、氏名、電話番号、組織の方ならば活動組織名、を明記。
郵便、ファックス、メール、電話での投稿。次号への掲載は、前月２０日ころまでに必着。
宛先は、〒690-0876 松江市黒田町 432-1　島根県土地改良事業団体連合会「おたよりコーナー」係。
FAX 番号（0852）24-0848、電子メール shigenhozen@shimanedoren.or.jp

農地・水・環境保全協議会のアドレスが変わりましたので、登録をされている方は変更をお願いします。

～農地・水・環境保全向上対策に関することは！～

◆島根県農地・水・環境保全協議会まで
〔事務局〕水土里ネット島根　Tel0852-32-4141　Fax0852-24-0848
http://www.nouchimizu-shimane.jp（3/1 よりアドレスが変わりました）
◆島根県農林水産部農村整備課資源保全スタッフ（共同活動）　Tel0852-22-6262
〃　農畜産振興課有機農業グループ（営農活動）　Tel0852-22-6477
http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/norin/nougyo/kojo_taisaku/
◆又は県内各農林振興センター、最寄りの各市町村担当課までお問合わせ下さい。